

衆議院議員 福田あきお



あけましておめでとうございます。

日精会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。 わが国は、過度な円安・資源の価格高騰による物価高、30年前と変わらない賃金、止まらない少子化、労働力不足等、喫緊に対応しなければならぬ課題が山積しています。

日本の経済・財政を立て直す為には、あまりも不公平になっている消費税・法人税・所得税の抜本改革が必要です。適切な金融政策・公平な税制・雇用制度を実現させ、確かな税財源を確保し積極財政で取り組めば、必ずや経済も財政も賃金もよくなる筈です。

再び、誰もが夢と希望が持てる日本を作るべく頑張ります。今後とも力強いご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。結びになります。皆様のこの一年のご健勝とご多幸を祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

日光市議会議員 青田よしひと



あけましておめでとうございます。日精会のみなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、田中会長をはじめ、会員のみなさまには、ご指導ご鞭撻を賜り感謝申し上げます。

昨今異常気象の影響や、新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行、インフルエンザの流行など体調管理にも十分注意をしなければいけない状況や物価高騰による生活への影響など厳しい状況が続いておりますが、これからも地域のみなさんとの会話を中心に付託に答えられるよう頑張っております。また昨年は、市内の未来ある中学生との議会報告会、意見交換会も実施し貴重なご意見を伺うことも出来ました。日光市議会は、今後もみなさまのご期待にこたえられるよう一致団結して頑張っておりますので本年もどうぞよろしくお願いたします。結びに日精会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。

シリーズ「郷土のはなし」第六回

(国指定名勝 その一)

憾満ヶ淵のいわれ

「並び地蔵」でも有名な、憾満ヶ淵と澄んで読むほうが正しいのです。の正しい読み方を皆様はご存じでしょうか? 「憾満」「憾満ヶ淵」を明を『日光山誌』・『日光大観』・『日光山輪王寺』などの地誌書に詳しく書か

「含満」「含満ヶ淵」とも書くので「かんまん・ガンマン」と濁って読まれることが多いが、「含満」は、華厳を落ちた水は大谷川となりこの地に至る。二万年前に始まった男命名の由来を考えると「かんまん」



よってできた類稀な奇勝で、古くから不動明王が現れる霊地と言われます。溶岩上を激流となつて流れる大谷川から醸し出す音が不動明王の真言「ナウ



大岩に刻まれたカンマン(憾満)の梵字(弘法の投げ筆ではありません)



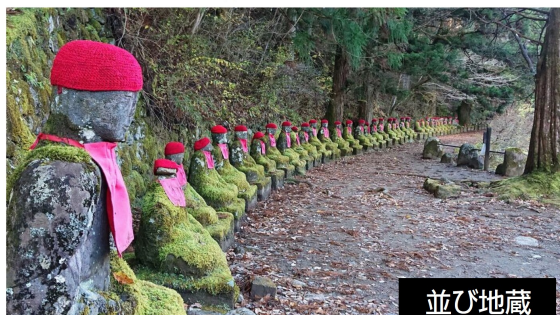
憾満ヶ淵

マクサンマンダバサラダンセンドンマカロシヤダソハタヤウンタラタカンマン」と唱えるように響くので見海大僧正(日光山第五十四世門跡)が最後の句の「カンマン」を取り「憾満」「憾満ヶ淵」と名付けたと言います。見海大僧正は、この地に慈雲寺や霊庇閣、不動明王の大理石像などを建立し、往時は参詣や行楽の人々で賑わいました。江戸時代に日光八景にも選ばれた憾満ヶ淵は、朝鮮使節や元禄2年(1689)俳聖「松尾芭蕉」も奥の細道行脚の途中に立ち寄っています。明治に入ると、この景勝地を多くの人が訪ね、茶店もあり多くの外国人もきています。大谷川の対岸(現・植物園側)にある巨石の上には、かつて高さ2mの不動明王の石像が置かれていましたが、明治35年(1902)9月の「足尾台風」による大暴

風雨の洪水で流失してしまつた。その石像の台座ともなつていた巨岩には「カンマン」の梵字が彫られていることが今もみることが出来ます。この梵字は日光山修学院学頭で養源院住職であつた山順僧正(霊庇閣に一番近いやや大きめの地蔵)の書を刻んだもので、以来三百年余も自分の梵字を今も見つめているのです。(※足尾台風の洪水ではさらに下流にある神橋も流失してしまつた。)

「並び地蔵」「霊庇閣」「慈雲寺」についてのお話は次号に載せたいと思います。

(玄梅正明 記)



並び地蔵

《女性部》

女性部の交流会は9月28日に6名の参加で、再入会をした太田とし子さんを中心とした会話もはじまりました。その後、日光市アルツハイマーデイ2023記念イベント映画『ぼけますから、よろしく願いいたします』をニコニコ本陣で鑑賞しました。

(部長 荒川榮子)



女性部交流会に参加して



秋らしく思える日、おいしいランチを頂きながらおしゃべりで楽しいひと時を過ごし、その後、映画を鑑賞しました。

所野支部

太田とし子

《将棋部》

9月9日、日光福祉健康センターにおいて、参加者5名でリーグ戦(同一相手と二回指す)を行い楽しいひと時を過ごした。

- 優勝 福田辰美 (森友支部)
- 二位 渡辺治夫 (安良沢支部)
- 三位 高頭東志夫 (安良沢支部)

(部長)

薄井和彦



《ゴルフ部》

この映画は、監督が自分の両親を撮った映画でした。娘さんが実家に帰省したときに母親の普通でない状態に気づき、母親と病院に行く。「アルツハイマー」と診断されてしまい、それからの両親の生活をそのまま私達に伝えてくれ、老々介護の大変さ、老いてゆく孤独ともどかしさなど最後までプライドを持ちながら、ボケていく自分に苦しんでいる姿を見て辛くなりました。また、ボケていても尊敬を持って接しなければならぬと感じ、感動しました。

11月1日 秋晴れの中、日光市民ゴルフ場で、9名の参加者で熱戦が行われ、好評あり、珍プレーありで、和気あいあい2ゲームを



11月2日35名の参加で、事前に上尾夫妻に現地コースの下調べをしていただき、足尾銅山閉山後50年という節目の年に、現在の状態を見ながら足尾の自然をハイキングした。

《歩こうかい部》

まず、細尾発電所に伺い、所長から「足尾銅山の要である電力は当初細尾発電所からの送電が主流であった」と、その必要性と日発100年の歩みについて説明を受けた後見学をした。その後、銅山跡地に向かい、「銅山のまち」として栄えた頃の面影がいたる所に見られる場所をハイキングした。総括として、こう云う近間のハイキングも有りかなと思われた。私事ですが、今回の行事をもち



実施した。年々参加者が減少することは寂しいが、参加者の皆さんの協力で無事大会が終了したことに感謝いたします。

- 優勝 川田盛一 (久次良)
- 二位 毛塚 勇 (安良沢)
- 三位 野原敏雄 (安良沢)

(部長 野原敏雄)

《グラウンドゴルフ部》

10月11日、大谷川グリーンパークにおいて、18名の参加爽やかな秋空のもと、再会を喜びながら日頃の練習の腕を振るい、和気あいあいと楽しい大会となりました。また、春の大会での再会を約束して。

- 優勝 岩本文男 (安良沢)
- 二位 渡辺隆 (大沢西)
- 三位 藤田清 (安良沢)

(部長 児玉進)



《カラオケ部》

11月10日、6名の参加者で今市カラオケバンバンにおいて、自分の好きな歌を歌い、楽しい時間を過ごした。



尚、最初に、今まで大変お世話に

なつた部長の増淵秋夫さんが逝去されてしまったため、謹んでご冥福をお祈りし、次期部長を一番若い丹治浩一さんをお願いした。

(副部長 田中貞夫)

